



社会福祉法人 愛知いのちの電話協会 名古屋いのちの電話

第20期 電話相談ボランティア養成講座

募集要項

募集期間

2010年5月6日(木)～6月30日(水)

養成期間

前期 2010年 7月～2010年10月

後期 2010年11月～2011年 2月

主催

社会福祉法人 愛知いのちの電話協会

名古屋いのちの電話

事務局電話：052-508-8381

後援

愛知県教育委員会
名古屋市教育委員会
NHK厚生文化事業団中部支局
中日新聞社会事業団
東海テレビ福祉文化事業団
朝日新聞厚生文化事業団

「名古屋いのちの電話」について

さまざまな悩み、心の危機に直面しながら、身近に相談できる相手がなく、孤独の中にいる人たちがいます。「いのちの電話」は自殺防止を目的とし、訓練されたボランティアが「救いを求める叫び」としてうけとめ、電話を通してその人たちの良き相談相手になっていこうとする市民による活動です。

「名古屋いのちの電話」は、1985年に日本で23番目のセンターとして開局し、これまでの25年間に約338,000件の相談を受けてきました。現在約230名の相談員が365日休むことなく電話を通して相談に耳を傾けています。1999年5月からは念願の“眠らぬダイヤル”24時間受信を実現しました。

相談をさらに充実させるために、より多くの相談員を必要としています。

「いのちの電話」相談員とは

相談員になるためには、一年の講座・研修を修了し、さらに3ヶ月の実地電話相談研修を受けた後に、審査認定を受けなければなりません。

- 1) 相談員は、社会的責任を求められるボランティアです。
- 2) 相談員は、相談電話を担当するほか、募金、広報事業、事務実務など「いのちの電話」全体の活動に参加していただきます。
- 3) 活動に関しては無給、交通費、受講料も自己負担です。
- 4) 「名古屋いのちの電話」では、日曜・祭日に関係なく、24時間、365日相談を受けています。相談員は月3回以上、電話の担当をしていただきます。
- 5) 相談員は、月1回の研修が義務づけられています。その他、積極的な自己研鑽が求められています。

養成講座の概要

期間：2010年7月～2011年2月

前期	2010年 7月～2010年10月	木曜日	午後6：30～9：00
後期	2010年11月～2011年 2月	木曜日	午後6：30～9：00

会 場： 前・後期 ：みこころセンター

- 受講資格： ○ 23歳以上63歳以下の男女で「いのちの電話」の趣旨に賛同し、その活動に積極的に参加できる人。(他地域の「いのちの電話」相談員は規定に従って転籍が認められます)
- 全講座終了後、3ヶ月の実習研修を行い審査のうえ、相談員として認定します。
- 講座受講中、および電話担当に際しては、原則として欠席・遅刻は認められません。出席状況等によっては、後期講座以降に進むのをお断りする場合があります。
- 提出物、レポートなどの返却は致しません。

- 提出書類： ○「20期養成講座 受講申込書」
- 作文： タイトル「私の考える電話相談ボランティア」
- 用紙： 400字詰め原稿用紙 4枚程度（1600字）
- 縦・横書きいずれも可

募集人数： 50名程度（定員を越えた場合は、お断りする場合があります）

募集期間： 2010年5月6日（木）～6月30日（水）

書類選考いたします。

申込手続： 6月30日（水）までに別紙の申込書と作文を郵送してください。

受講料： 前期：20,000円 後期：20,000円

前期の終わりに予定しております一泊研修は別途収めていただきます。

(一度納入されました受講料は返却致しません)

郵送先： 〒461-8691 名古屋市東郵便局 私書箱257号

問合せ及び 名古屋いのちの電話 事務局 電話：(052)508-8381

受付時間： 月～金 午前10時～午後6時

20 期 養成講座の日程と内容

月 日	曜日	講義および実習	講師 担当
7月 8日	木	いのちの電話とは	梶原 壽 平成22年・瑞宝中授章 受賞者 (元名古屋学院大学学長)
15日	木	キックオフ 共に学ぶ	山本 秀樹 (「名古屋いのちの電話」養成委員長)
22日	木	聴くことの効果	長坂 正文 (東京福祉大学教授)
29日	木	訊くことの効果	二村 陽子 (名古屋市精神保健福祉センター福祉相談員)
8月 5日	木	話すことの効果	柳川 佳延 (「名古屋いのちの電話」養成委員)
19日	木	心の病	榎本 和 (共和病院 名誉院長)
26日	木	カウンセリングの基礎	田畑 治 (愛知学院大学教授)
9月 2日	木	リフレーミングしてみる	加藤 省吾 (「愛知いのちの電話協会」事務局長)
9日	木	「聴く」①うなずき	スタッフによる実習
16日	木	「聴く」②リピート	スタッフによる実習
10月7日	木	「聴く」③気持を聴く	スタッフによる実習
16日・17日	土・日	宿泊研修 一泊二日	

緊急事情による講義、講師の変更がでる場合はご了承ください

後期養成講座(11月から2011年2月) 会場:みこころセンター

電話相談の実際トレーニング (様々な電話への対応)

11月～2月

修了証書 授与 (3月)

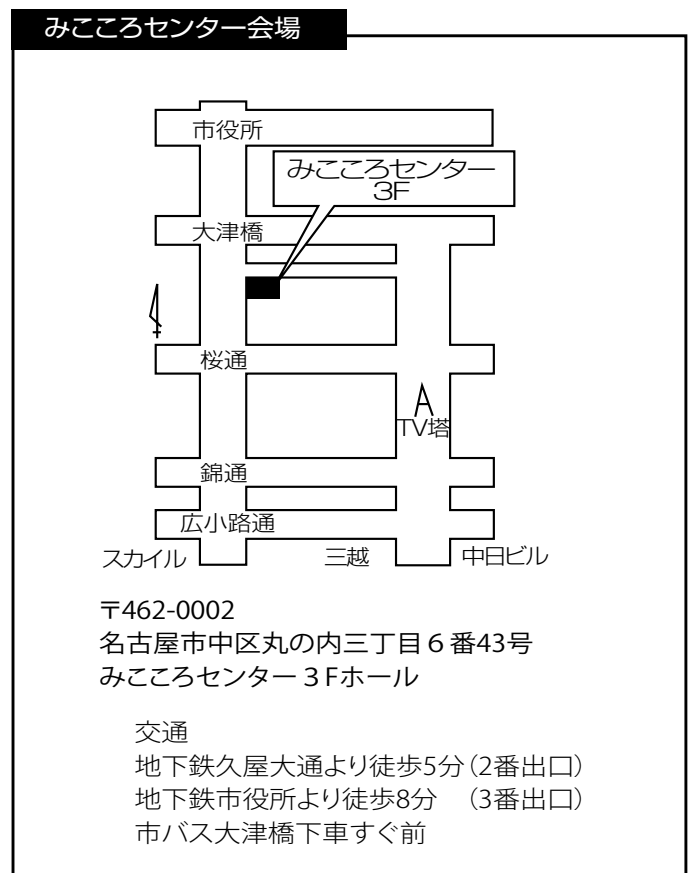
※ 相談員としての認定は、養成講座を修了した後に実際に電話相談の実習を受け、その総合評価により2011年7月ごろに決まります。

●名古屋いのちの電話にご協力いただく講師・スタッフ●

生島博之 (愛知教育大学)	二村陽子 (名古屋市精神保健福祉センター)
伊藤義美 (名古屋大学大学院)	松岡典子 (桜花学園保育学部)
内田良 (愛知教育大学)	水谷巍 (崇覚寺)
榎本和 (共和病院名誉院長)	水谷真 (わだちコンピュータハウス・AJU 自立の家)
岡村晴美 (名古屋南部法律事務所)	三宅美樹 (トヨタ車体 健康推進センター)
梶原壽 (名古屋学院大学)	三和啓二 (臨床心理士)
加藤省吾 (愛知いのちの電話協会)	森正彦 (元名古屋市児童福祉センター)
加藤淑子 (旭労災病院)	守屋小百合 (愛知県精神保健福祉センター)
兼田智彦 (日本子ども虐待防止センター)	幸順子 (名古屋女子短期大学)
願興寺礼子 (中部大学)	

50 音順・敬称略

来多泰明 (共和病院)
隈元真理子 (CAPNA)
島しづ子 (堀川伝道所)
関口純一 (心療クリニック パティオ・ちた)
高橋蔵人 (西山クリニック)
田畑治 (愛知学院大学)
辻敬一郎 (名古屋大学)
土江三千代 (臨床心理士)
寺西佐稚代 (桜クリニック)
長坂正文 (東京福祉大学)
野田裕史 (特別養護老人ホーム)
橋本治 (岐阜大学)
花井正樹 (東海女子大学)



この「第20期電話相談ボランティア養成講座」要項は、共同募金配分金によって作成されたものです。